

よえもん

論語から学ぼう

(記念館の玄関前に掲示しています)



《 第54号 》 (2017年度)

シリーズ
よえもん

第31回小企画展開催



「論語」 公治長第五 書 淵田瑞穂さん

願わくば
善に侘ること無く
労を施すこと
無からん

中江藤樹記念館では、3月1日から、「大洲における中江藤樹のあゆみ」をテーマに、小企画展をスタートします。

中江藤樹は、10歳から27歳まで、大洲（愛媛県大洲市）で過ごしました。

子ども時代から、立派な武士として活躍するまでに成長した大洲での17年間のあゆみを

- ①「大洲における中江藤樹」
- ②「大洲の街並みと中江藤樹のゆかりの史跡」
- ③「大洲における中江藤樹の顕彰のあゆみ」

の3部構成で、当時をしのぶ文書や肖像画、写真などの資料をもとに展示しています。



中江藤樹肖像画像



大洲城・藤樹像



紙芝居(中江藤樹の孝心)

「善いことをしても自慢せず、つらいことを人に押しつけないようにしたい」という意味です。人はややもすると、良いことは自分の手柄にしようとしますが、手柄をひとり占めせず、周りの方への感謝を忘れないことが大切です。また、困難でつらいと思うことを避けて人に苦勞をかけるということがないよう、自ら努力する心がけも大切です。

人が生きていくうえでは、謙虚さと思いやりが何よりも大事であると言えます。

* 記念館だより *

今年の冬も大雪となり、1月末には当記念館も50cm前後の積雪がありました。1日中駐車場の除雪という日もあり大変な冬となりました。2月末からはやや穏やかな天候となり、ほっとしています。この小企画展は、1年間開催しています。多くの方のご来館をお待ちしています。



近江聖人中江藤樹記念館

高島市安曇川町上小川69 TEL:FAX (0740)-32-0330

